

千葉科学大学

中高生対象・参加無料

# OPEN LABO.

くすりに**関**する  
4つの「なぞとき」

今年は OPEN LABO. がシリーズ化！  
くすりに関する新作「なぞとき」  
**4連発!!!!!!!!!!!!!!**  
必要なモノは「OOOQ」だけ！

オープンキャンパス

大学OCと同時開催



**1st** [NT Lv.=3]\*

クスリと  
ノーベル賞

**5/14**日

担当:片岡 13:30~15:00

**4th** [NT Lv.=5]\*

高機能患者  
シミュレーターを  
使った演習

**8/11**祝金

担当:森、高橋 時間未定※

**2nd** [NT Lv.=2]\*

みえないクスリが  
見える?? TLC分析

**6/11**日

担当:野口 13:30~15:00

**3rd** [NT Lv.=4]\*

五感を使った  
漢方薬の分類

**7/16**日

担当:高崎 13:30~15:00

ゲリラ&出張  
OPEN LABO.  
多数実施  
詳細は大学HP

画・構成  
StudioNoguchi

\* NT Lv.: NazoToki Level (なぞときの難易度を1~5で表現。1=易しい、5=難しい)

☆開催場所☆  
千葉科学大学 マリーナキャンパス  
薬学部棟 1Fエレベーター前集合

☆お得情報☆  
午前中に開催されるオープンキャンパスに参加  
登録すると昼食が付いてくる

☆申込&詳細☆  
右のQRコードを読みとると  
詳細と申込フォームが表示されます  
お申し込みの際は必要事項を入力してください



※大学HP「OPEN LABO.」

OPEN LABO. は大学オープンキャンパス (OC) のと同  
時開催です。OC 日程の変更に伴い日程が変更するこ  
とがあります。左のQRコード (大学HP) にテーマ詳細、  
実施報告、日程 (日時・集合場所) を更新するので、  
ご確認ください。

お問合せ先:千葉科学大学入試広報部

**0120-919-126**

# 23年度 OPEN LABO. 待望のシリーズ化決定

# オープンラボ新聞

発行人 StudioNoguchi



6月担当の野口先生

オープンラボのシリーズ化が決定した。テーマはくすりに関する4つの「なぞとき」だ。大学の設備を利用した今までにない体験型のイベントである。対象は中高生とその保護者だ。令和5年5月から全4回、月1間隔で開催される。「最近の学生は、動画でわかった気になってるんです。圧倒的に五感体験が不足して

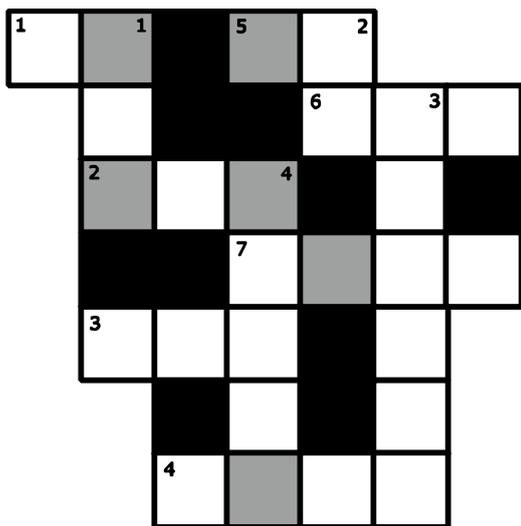
いるんです。だから、いまオープンラボなんです。」と主催者の野口は語る。わかった・できたという体験は絶対忘れない。能動的に体験する「なぞとき」ならば尚更だ。このシリーズではくすりを扱うが、文系理系は問わない。必要なモノは「○○○○○」だけだ（紙面左下クロスワードパズル参照）。

「理数系が苦手な私には難しかったけど楽しかったです。」

第2回目となるオープンラボが3月18日（土）に開催された。テーマは「くすり×化学」のなぞときだ。参加者は銚子近郊の中高生と同日開催のオープンキャンパスからの飛び入り客である。「理数系が苦手な私には難しかったけど楽しかったです。」「そもそもは楽しもう。知識ゼロからでも楽しめる謎解きイベントがオープンラボである。」

## クロスワードパズル

～灰色枠6文字から必要なモノを推理せよ～



5月担当の片岡先生

5月担当の片岡です。私はこれまで大学病院で勤務し、新しい治療法の研究をしてきました。人が健康で長生きできるように、多くの研究者が必死に努力してきたおかげで、新しいクスリが生み出されました。ノーベル賞などの偉大な業績が関わるクスリについて、身近な病気をテーマにして薬剤師と一緒になぞときしてみよう。

## 私の「テーマ」を紹介します

もっと詳しく知りたい方へ



大学情報随時発信 LINE 友だち登録



OPEN LABO. 詳細・申込・最新情報

### よこの鍵

1. 千葉科学大学には○○学部があります
2. あなたは○○○、文系どっちかな？
3. 千葉科学大学には○○○学部があります
4. ○○○○で紙をまとめる
5. ○○こそもの上手なれ
6. ●▲■など
7. 千葉科学大学は○○○○市にあります

### たての鍵

1. OPEN LABO.は○○○に関する実験を集めました
2. 千葉科学大学には○○管理学部があります
3. ○○○○○○に染み渡る
4. このあたりでは2～5月までやっています

7月担当の高崎です。漢方薬は複数の生薬（しょうやく）の集合体です。現在の漢方薬は顆粒タイプが多く、生薬の集合体であることが実感できません。今回は本来の漢方薬を用意しました。それぞれの生薬は色、形、質感、においが異なります。五感を使って分類し、手渡された漢方薬が何かを当ててください。そして、実際に煎じて、香りや味の違いも体験しましょう。



7月担当の高崎先生